

わたしたちの広島だから、 あなたの「救いたい」思いを赤十字に

救うを託されている。



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society



災害救護 Domestic Disaster Response

▶「いのちを守るための備え」を行っていますか？

近い将来に起こるとされている「南海トラフ地震」。

皆さんは災害への備えは行っていますか？

広島県は南海トラフ地震の震源域に近いので、地震・津波で大きな被害を受けることが予測されています。

東日本大震災から今年で12年。

改めて、日々の暮らしの中で「自助」「共助」の力を高めることが重要です。

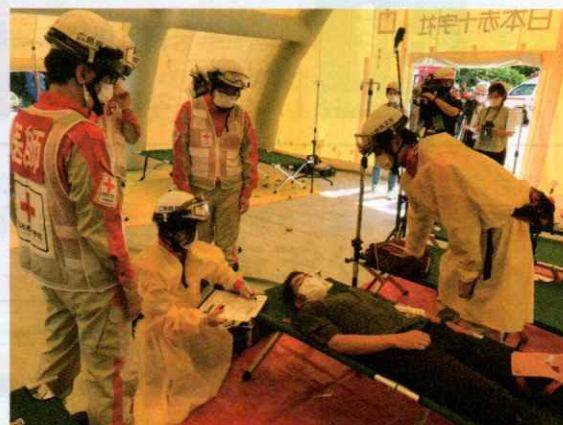
「自助」の力を高めるためには、自分自身と家族のための備えを実行することが大切です。また、「共助」の力を高めるためには、ご近所や地域にいる人を知り、皆で協力しあう関係を日頃から築いておくことが大切となります。

日本赤十字社広島県支部は救護員の養成のため救護訓練を行う他、県内で発災した火災等に対し救援物資を配布しています。

また赤十字防災セミナーを自治会・町内会等地域の団体等を対象に、実施しております。

「まさか」は必ずやってきます。

身近な大切な人を失わないためにも一人一人の防災対策をしっかりと進めていきましょう。



傷病者に対する診療【広島県・市総合防災訓練】

主な実績 令和4年4月1日～令和4年12月31日

- 赤十字防災セミナーの開催
受講者数205人／開催回数11回
- 救援物資の配付
毛布70枚・緊急セット35組・バスタオル67枚
安眠セット63組・寝衣68着



日本赤十字社
広島県支部長
湯崎 英彦

人間のいのちと健康、尊厳を守る

平素から赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年は、ウクライナにおける戦闘の激化により1,443万人以上の避難民やパキスタンにおける洪水では国土の3分の1が水没し3,300万人以上が被災するなど世界各地の紛争や自然災害に伴い、深刻な人道危機が発生しています。

また、国内では3月に福島県沖を震源とする震度6強の地震、8月には大雨に伴い山形県、新潟県、石川県、青森県など広域で河川の氾濫や土砂災害が起きました。

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすため、災害救護をはじめとする各種事業を積極的に展開して参りますので、本年におきましても、皆さまからの活動資金のご支援や赤十字講習会、防災セミナーのご参加、青少年赤十字・献血を通じたボランティアなど各種活動へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。